# 茨城県の経済動向（平成17年7～9月期）

この経済動向は，茨城県の経済活動の主要項目分野に着目し，これまで県等で公表された当該分野の各主要経済指標の数値変動をもとに，本県における最近の経済状況をマクロ的視点から，限られた統計データ分析範囲の中で，概観的にまとめたものです。

## 概　況

本県の最近の経済動向をみると，生産活動は総じて横這いの範囲で推移し，消費は弱い動きとなっている。民間設備投資は，増加しているが，公共投資は低調であり，住宅投資は堅調に推移している。雇用環境は総じて回復基調が続いている。一方，景気ウォッチャー調査による景況感は，横這いで推移しているものの，特に県南地域を中心につくばエクスプレス開業効果などで，明るい兆しも見られる。また，県民経済計算四半期速報による実質経済成長率は，９四半期連続でプラス成長となっている。

このようなことから，本県経済は，個人消費など一部に弱い動きはみられるものの，全体としては，緩やかながら回復の動きを続けている。

### 景 況 等

・景気ウォッチャー調査（９月実施）の，景気の現状判断DIは，前回調査（６月）に比べ0.8ポイント増の48.5となり，横這いを示す50を５四半期連続で下回った。企業動向関連・雇用関連は改善しているが，家計関連のマインドはやや低く，全体として景況感は横這いで推移している。

地或別にみると，特に県南地域を中心にTX開業効果などで，現状・先行きとも改善している。

・景気動向指数（８月）の先行指数は，２か月連続で50％を下回った。また，一致指数は２か月連続50％を下回ったが，指数は42.9％と改善している。

〈※国の景気動向指数の一致指数は80.0％と２か月ぶりに50％を上回った。〉

・県民経済計算四半期速報（今年４～６月期）の実質経済成長率は，対前期比プラス0.7％となり，９四半期連続（平成15年４～６月期以来）でプラス成長となっている。

〈※国の実質経済成長率（今年４～６月期）は，プラス1.1％と4四半期連続でプラス成長となった。〉

○茨城県景気ウォッチャー調査

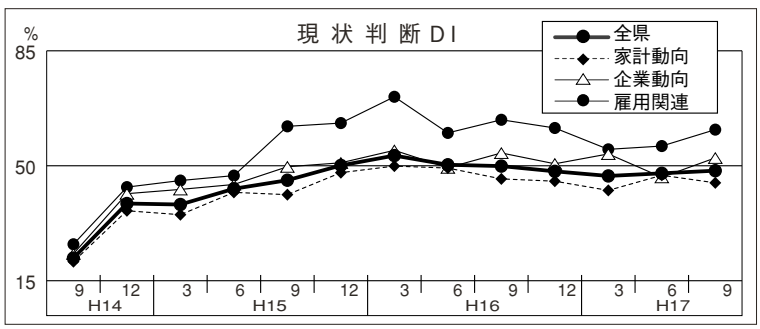
・９月の実施結果をみると，景気の現状判断ＤＩは企業動向・雇用関連は改善しているが，家計動向関連は前回調査2.6ポイント減の44.8となった。家計動向の内訳では，住宅関連は58.3と50を上回っているが，小売・飲食・サービス関連はいずれも50を下回っている。県全体としては，景況感は横這いの範囲で推移している。

一方，先行き判断ＤＩについては，つくばエクスプレス開業に伴う経済効果や年末商戦への期待感から，前回調査に比べ2.6ポイント増加し，51.3となり，横這いを示す50を上回った。

地域別にみると，県南地域が，現状・先行きともに明るさが見られる。

景気の現状判断ＤＩ

| 分野＼調査月 | H16.9 | H16.12 | H17.3 | H17.6 | H17.9 |
|---|---|---|---|---|---|
| 合　　計 | 49.9 | 48.3 | 46.9 | 47.7 | 48.5 |
| 家計動向関連 | 46.0 | 45.3 | 42.5 | 47.1 | 44.8 |
| 企業動向関連 | 53.9 | 50.6 | 53.6 | 46.5 | 52.4 |
| 雇 用 関 連 | 64.0 | 61.5 | 55.0 | 56.0 | 61.0 |



## 生活活動 ……横這いの範囲で推移

・鉱工業生産指数（８月）（平成12年＝100）は104.2，前年同月比0.9%減と３か月連続で前年水準を下回った。電子部品・デバイスの在庫調整が続く中で，一般機械・電気機械・情報通信機械は堅調に推移しており，総じて横這いの範囲で推移している。
〈※全国の鉱工業生産指数（８月）は101.1と前年同月比1.5%増加と２か月ぶりに増加となった。〉
・大口電力使用量は，６～９月と連続で前年水準を下回ったものの，９月は減少幅も少なく，ほぼ前年水準並になっている。

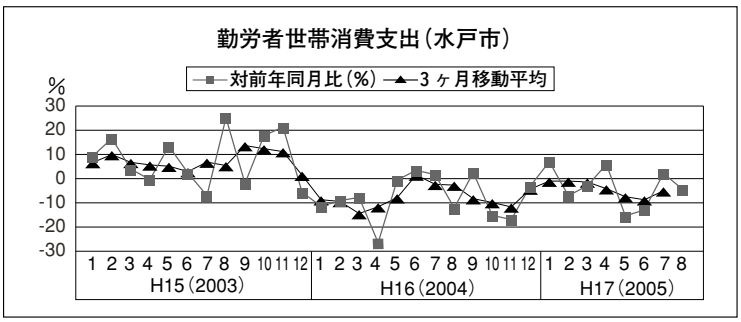
## 消　費 ……弱い動き

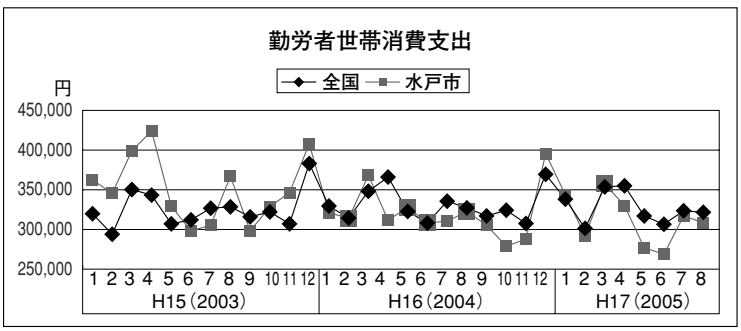
・自動車新規登録台数（９月）は，2か月連続で前年水準を下回った。
・大型小売店販売額（９月）は，前年同月比2.2%減と23か月連続で前年水準を下回った。
既存店ベースでみると，31か月連続で前年水準を下回ったが，百貨店は７か月連続で前年水準を上回っている。スーパーは33か月連続で前年水準を下回ったが，全体の販売額の減少幅は１%台まで縮小している。
〈※全国の大型小売店販売額（９月）は前年同月比0.9%減と３か月連続で前年水準を下回った。〉
・勤労者消費支出（８月：水戸市）は，前年同月比4.3%減と２か月ぶりに前年水準を下回った。
３か月移動平均で見ると13か月連続で前年水準を下回っている。
〈※全国の勤労者消費支出（８月）は，前年同月比1.7%減と５か月連続で前年水準を下回った。〉

### ○勤労者世帯消費支出（水戸市）

| 年 | 月 | 消費支出 | 対前年同月比 | ３か月移動平均 |
|---|---|---|---|---|
| H16（2004） | 1 | 321,076 | −11.44 | −8.71 |
| | 2 | 314,058 | −9.09 | −9.42 |
| | 3 | 368,257 | −7.73 | −14.43 |
| | 4 | 311,758 | −26.49 | −11.60 |
| | 5 | 327,390 | −0.58 | −7.87 |
| | 6 | 308,484 | 3.45 | 1.50 |
| | 7 | 310,252 | 1.63 | −2.34 |
| | 8 | 322,763 | −12.09 | −2.67 |
| | 9 | 305,343 | 2.46 | −8.27 |
| | 10 | 278,794 | −15.17 | −9.87 |
| | 11 | 288,009 | −16.89 | −11.69 |
| | 12 | 395,555 | −3.02 | −4.30 |
| H17（2005） | 1 | 343,579 | 7.01 | −1.02 |
| | 2 | 291,914 | −7.05 | −1.00 |
| | 3 | 357,387 | −2.95 | −1.37 |
| | 4 | 330,118 | 5.89 | −4.16 |
| | 5 | 276,945 | −15.41 | −7.46 |
| | 6 | 268,764 | −12.88 | −8.72 |
| | 7 | 316,864 | 2.13 | −5.03 |
| | 8 | 308,767 | −4.34 | |

資料出所:家計調査（総務省）




## 民間設備投資 ……増加で推移

法人企業景気予測調査（水戸財務事務所）では，17年度上期の設備投資計画額は，全産業で前年同期比16.8%の増加見込みとなっている。17年度下期は，全産業で前年同期比48.3%の増加見通しとなっている。

## ■調査から

**建設投資** ……住宅投資は堅調に推移、公共投資は低調

・新設住宅着工戸数（９月）は，2,221戸，前年同月比5.3%増と２か月ぶりに増加となった。１～９月累計では10.7%前年を上回っている。一戸建分譲住宅が堅調で，10か月連続で前年を上回っている。
〈※全国の新設住宅着工戸数（９月）は，対前年比0.2%減と６か月ぶりに減少したが，１～９月累計では2.9%増加している。〉
・公共工事請負金額から公共投資の動向をみると，９月は394億66百万円，前年同月比10.1%増と３か月ぶりに前年水準を上回ったが，４～９月累計では請負金額・件数も前年を下回るなど環境は厳しい。

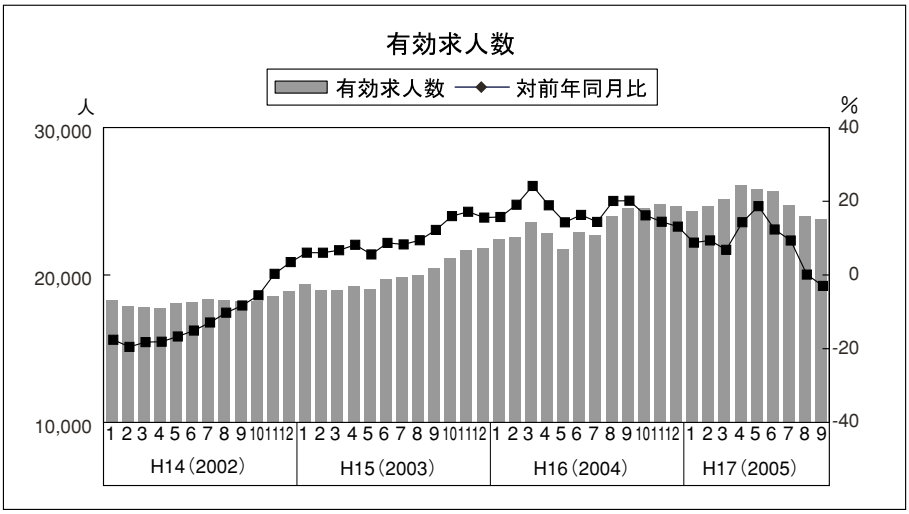
**雇用・労働** ……総じて回復基調を維持

・有効求人数（９月）は，前年同月比3.1%減と２か月連続前年水準を下回ったが，原数値の１～９月累計では前年水準を7.5%上回っている。
〈※全国の有効求人数（９月）は，対前年比9.2%減と37か月連続増加している。〉
・雇用保険受給者実人員（９月）は，12,834人，前年同月比5.0%減と35か月連続で前年水準を下回っている。
・所定外労働時間（８月）は，21.34時間となり，４か月連続で前年同月比がマイナスとなったが，数値は総じて横這いで推移している。

**○有効求人数（学卒・パートを除く）**

| 年 | 月 | 有効求人数 | 対前年同月比 |
|---|---|---|---|
| H16（2004） | 3 | 23,555 | 24.04 |
| | 4 | 22,824 | 18.79 |
| | 5 | 21,779 | 14.17 |
| | 6 | 22,889 | 16.18 |
| | 7 | 22,673 | 14.28 |
| | 8 | 24,017 | 19.97 |
| | 9 | 24,549 | 20.04 |
| | 10 | 24,540 | 16.06 |
| | 11 | 24,810 | 14.33 |
| | 12 | 24,652 | 13.01 |
| H17（2005） | 1 | 24,353 | 8.67 |
| | 2 | 24,673 | 9.26 |
| | 3 | 25,138 | 6.72 |
| | 4 | 26,065 | 14.20 |
| | 5 | 25,822 | 18.56 |
| | 6 | 25,688 | 12.23 |
| | 7 | 24,768 | 9.24 |
| | 8 | 24,017 | −0.00 |
| | 9 | 23,793 | −3.08 |

原数値を１～９月累計で前年比をみると，H14年15.6%減H15年7.6%増，H16年18.5%増，H17年7.5%増と増加している。




資料出所：茨城労働局職業安定部「職業安定業務月報」のデータを県が季節調整

※　参考：最近の国内経済の動向
（内閣府「月例経済報告」平成17年10月12日）

景気は，緩やかに回復している。

・企業収益は改善し，設備投資は改善している。
・個人消費は，緩やかに増加している。
・雇用情勢は，厳しさが残るものの，改善に広がりがみられる。
・輸出は持ち直し，生産は横這いとなっている

先行きについては，企業部門の好調さが家計部門に波及しており，国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。一方，原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。